

## 前期基本計画 平成30年度 政策方針書

政 策： 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

担当部長職・氏名	経済産業部長 齋藤 誠司
----------	--------------

### 1. 政策の実現状況を明らかにする

#### (1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	目指すまちの姿は「雇用環境が充実し、みんなが安心して生き活きと働けるまち」です。このため、滝沢市の特性や強みを活かし、地域資源を活用して顧客ニーズに応じた価値の創造や、産学官連携や異業種連携を推進し、競争力の高い産業の育成を目指します。この結果、雇用拡大と産業振興を図り、次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します。
--	---

#### (2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分の仕事に満足している人の割合 単位 %	53.5	54	55	56	57	58	-
			53	53.5	55.1	-	-	0.0
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	39.5	40.5	42	43.5	45	46	-
			40.4	40.4	36.3	-	-	0.0
	単位							

#### (3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし 03010000 地域資源を活用した戦略的な産業振興 チャグチャグ馬コの入込客数 単位 千人	28	28.5	29	29.5	30	30	-
			22	18	0	-	-	0.0
2	幸福 03010000 地域資源を活用した戦略的な産業振興 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-
			72.3	78.3	0	-	-	0.0
3	暮らし 03020000 企業集積と産学官連携の推進 IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数 単位 %	18	20	21	23	25	26	-
			20	19	0	-	-	0.0
4	幸福 03020000 企業集積と産学官連携の推進 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42.5	43.5	45	46	-
			40.4	40.4	0	-	-	0.0
5	暮らし 03030000 農林業の振興 農業後継者（販売農家）の有無の割合 単位 %	55.2	55.7	55.7	55.7	55.7	55.7	-
			55.2	58.6	0	-	-	0.0
6	幸福 03030000 農林業の振興 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42	43.5	45	46	-
			40.4	40.4	0	-	-	0.0

## 前期基本計画 平成30年度 政策方針書

政 策：03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

担当部長職・氏名 経済産業部長 齋藤 誠司

## 2. 政策の実現に向けての現状を認識する

## (1) 政策目標の進捗状況分析

競争力の高い産業の育成には、滝沢市の特性や強みを活かし、顧客ニーズに応じた価値を創造することや仕事に意欲と夢を持って挑戦し続ける人材を増やす必要があると考えます。

その様な中、若手農業者集団や商工会青年部会の中から自ら新たな事業に取り組む人材も現われており、引き続き支援をする必要があると考えます。

## (2) 政策の実現に影響する社会環境変化

マクロ視点では、TPPなど経済産業のグローバル化、人口減少による国内市場の縮小、労働力不足が懸念されるなか、本市の強みである県立大学等を始めとした産学官連携による付加価値の高い事業を創出し、次世代を担う人材育成や活気あふれる元気な産業を育成することが求められていると考えます。

## 3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

## (1) 政策の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

- 「地域資源を活用した戦略的な産業振興」については、ビッグループ内にオープンした、たきざわキッチンを拠点として、ICTを活用した観光情報、イベント情報などの情報発信や滝沢ブランド開発など価値ある地域情報の提供による集客力の向上を目指します。また地域特産物のブランド化を引き続き推進し、地域産業の活性化を目指します。商工会と連携し、小規模商工業者を対象とした商工業振興計画を策定し、経営基盤の確立と体質強化を支援します。
- 「企業集積と産学官連携の推進」については、イノベーションセンター、イノベパークを拠点とした産学官連携や異業種連携を推進し、企業が成長しやすい環境整備と人材育成を支援することにより、新たな価値が創造され、民間資金が集積しやすい環境や企業集積の加速化を目指します。また、誘致企業数の増加や誘致企業の成長に伴い、集積の加速化に寄与する次期企業誘致構想を策定します。
- 「農林業の振興」については、農地集積の推進、畜産の振興により、次代の担い手の育成・確保に努めます。また、日本型直接支払や森林整備を推進し、農地や森林が有する多面的機能の持続的な発揮を目指します。また、産直施設のネットワーク化や食育と連携した食の安全・安心を基本とする地産地消を推進し、持続可能な農林業を育成します。

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

- 「地域資源を活用した戦略的な産業振興」については、産業創造センターの開設に伴い、指定管理者と共に、観光と物産の情報発信に取り組みます。また、平成28年度に実施した「馬資源を活用した農産物のブランド化・地域共創事業」の可能性検討に引き続き取り組みます。
- 「企業集積と産学官連携の推進」については、イノベパークへの企業誘致を促進するとともに、産学官連携や共同研究を進め、人材と企業がともに成長しやすい環境整備の推進と、次期産業用地の可能性を検討します。
- 「農林業の振興」については、農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積の推進、日本型直接支払の推進と産直や食育と連携した地産地消を推進し、持続可能な農業経営体の育成を図ります。また、相の沢牧野の運営管理による畜産振興、松くい虫対策などの適切な森林整備を推進します。

## (3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- 「地域資源を活用した戦略的な産業振興」については、商工業経営安定支援事業、チャグチャグ馬コ関連事業、滝沢市観光協会補助事業などのほか、たきざわキッチン指定管理者と連携した事業展開を図ります。
- 「企業集積と産学官連携の推進」については、継続的な企業誘致の推進と地元企業の成長のための産学官連携や共同研究の推進するとともに、セミナー開催による人材育成と環境整備を図ります。
- 「農林業の振興」については、農地中間管理事業による農地集積の推進、日本型直接支払の実施、畜産振興を支援する相の沢牧野の運営管理、松くい虫対策など森林整備の推進を図ります。

